

科 目 名	農業経営	単 位 数	3 単位	学 科 ・ 学 年	農業総合 科	2 年
使 用 教 科 書	農業経営	実教出版	副 教 材 等			
学 習 目 標	農業の見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を行うことなどを通して、農業経営とマーケティングに必要な資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 (1) 農業経営について体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けるようにする。 (2) 農業経営に関する課題を発見し、農業や農業関連産業に携わる者として合理的かつ創造的に解決する力を養う。 (3) 農業経営のマネジメントやマーケティングが経営発展へつながるよう自ら学び、農業の振興や社会貢献に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。					
学 習 評 価	○ 次の三つの観点に基づき、学習内容のまとまり（定期考査までを学習のひとまとまり）ごとに下の評価規準により評価を行い、学年末に5段階の評定に総括する。					
	①知識・技能	農業経営の組織と運営、会計簿記に関する基礎的・基本的な知識を身につけ、農業経営を合理的に計画し、適切に処理するとともに、その成果を的確に表現することができ、農業経営者としての意義や役割を理解しているか。				
	②思考力・判断力・表現力	農業経営の組織と運営、会計簿記を通して自ら思考を深め、基礎的・基本的な知識と技術を活用して適切に判断し、創意工夫する能力を身につけているか。				
	③主体的に学習に取り組む態度	農業経営の組織と運営、会計簿記に関心を持ち、向上を目指しての意欲的な取り組みや創造的、実践的な態度を身につけているか。				
		評価方法\観点	①	②	③	
		学習状況観察	○	○	◎	
		レポート	—	◎	○	調べ学習・課題
ペーパーテスト		◎	○	○	定期考査	
※表中の◎は観点の中でより重視するところです。						
履 修 上 意 注 意	授業は単元内容をよく理解し、毎時のノートを取り、集中した取組ができているか、また、他人に迷惑のかからないように注意しましょう。 農業経営者としての基礎的な知識・技術及び簿記をつける力を身に付けて下さい。					

学期	学習内容	時数	学習のねらい	学習活動（評価方法）
1 学期	第1章 農業の動向と農業経営 1, 日本と世界の農業 第2章 農業経営の組織と運営 1, 農業経営の主体と目標 2, 農業生産の要素	46	世界と日本の農業の動向、世界のおもな農業経営を理解し、世界と日本の農業の特徴の違いをつかむ。 家族経営の特徴を知り、企業経営との違いを考える。農業における収益の意味を、はっきり理解する。 他産業の労働と農業労働の違いを知り、その利用の仕方を考える。農業資本の利用の仕方について知る。	調べ学習を行いながら世界と日本の農業の特徴を学ぶ。 家族経営主体の農業経営を知り、増えつつある企業の家族経営の形態を学ぶとともに収益の算出の仕方を学ぶ。 農業労働、農業資本の特徴を知り、その上手な利用の仕方を考える。 【学習状況観察】 【定期考査】 【レポート】
2 学期	4, 農業経営の集团的取り組みと法人化 5, 農業経営の運営 第3章 農業経営と情報 3, 農業のマーケティング 第4章 農業経営の会計 1, 簿記の基礎	41	集团的取組がどのような役割を果たしているのかを知り、なぜ、農業の法人化が進んでいるのかを理解する。 利益が最も大きくなるところはどこかを知る。経営規模を拡大する利点を理解する。 マーケティングとは、どのような活動かを知り、農産物の生産におけるマーケティングの必要性を理解する。 簿記の意味や5つの要素、複式簿記の基本を理解し、基本的な取引の記帳から決算までの流れを理解する。	集团的取り組みの意味を知り、その利点を学ぶ。経営の法人化がもたらす長所、短所を学ぶ。 集約の意味を学び、経営規模拡大について学ぶ。 マーケティングの意味と方法を知り、農産物販売における重要性を学ぶ。 簿記の意味と目的、複式簿記の基本を学び、実際に記帳から決算まで行う力を付ける。 【学習状況観察】 【定期考査】 【レポート・課題】
3 学期	1, 簿記の基礎	18	演習問題を解くことにより、実際に貸借対照表を作成する力を付ける。	演習問題を解き、解説を聞く。 【学習状況観察】 【課題】
時間数計		105		